

4 月定例教育委員会 会議録	
日 時	令和 7 年 4 月 9 日（水） 午後 3 時 5 分～午後 3 時 5 0 分
場 所	本庁舎 9 階 会議室 9－2
出 席 委 員	松田教育長・市川職務代理者・末木委員・上原委員・川口委員
出席事務局職員	飯田教育部長・近藤教育総室長・西村生涯学習室長（歴史文化財課長兼任）・大森学校教育課長・山本学事課長・花輪甲府商業高等学校事務長・浅川甲府商科専門学校事務長・樋田生涯学習課長・穂山教育施設課長・長田スポーツ課長・上條国スポ総体課長・宮崎図書館長・菱山総務係課長補佐・小泉総務課学校規模適正係課長補佐
傍 聴 人	なし
署 名 委 員	市川職務代理者
委 員 会 書 記	
・教育委員あいさつ	
・会議録署名委員の氏名 市川職務代理者	
・3 月定例会・会議録等の承認 原案のとおり承認	
松田 上原市川 川口末木	
1 開会 松田教育長 これより 4 月定例教育委員会を開会いたします。 （１） 教育委員あいさつ 松田教育長 今年の春は、寒暖差の激しい日々が続きましたが、ようやく穏やかな陽気となってきました。市内各学校では、お天気にも恵まれ、2 年連続で満開の桜のもと、入学式、始業式を無事に行うことができました。今朝もやわらかな日差しに包まれて、子どもたちが元気に登校する姿を目にして、ほほえましく思うとともに、改めて気持ちが引き締まったところでもあります。 さて、いよいよ令和 7 年度がスタートしました。今日は、学校教育の面で、重点的に取り組みたい課題の中から、二三、お話をさせていただきたいと思います。 1 つ目は、子どもたちの多様性への対応ということです。 これまでも本市では、児童生徒支援センター「すてっぷ」の開設や、中学校への校内教育支援センター「ほっとルーム」の増設、さらには、心の健康観察、「きもちメーター」の導入など、様々な取組を進め、不登校児童生徒数の増加に歯止めがかかりつつあるなど、その成果があらわれはじめています。	

しかし、全国的な不登校児童生徒増加の背景の1つとして、多様な子どもたちの実態に学校が対応しきれていないのではないかと指摘もあります。具体的には、様々な特性を持った児童生徒、外国にルーツを持つ子どもの増加、さらには、子どもたちの家庭状況等多様化しており、これまで以上に、きめ細かな支援が求められています。

本市では、今年度、学習指導員や特別支援教育支援員、スクール・サポート・スタッフなどを各学校に配置するとともに、児童生徒支援センター「すてっぷ」のスクール・ソーシャル・ワーカーや日本語指導員を増員するなど、相談支援体制の強化を図っています。

学校と教育委員会はもちろんですが、フリースクールなど、外部専門機関との連携も進めながら、子どもたちの実態に応じたきめ細かな支援を一層充実させ、不登校の未然防止はもちろんですが、多様な子どもたちの学びをしっかりと保障できる、そんな学校づくりを進めていきたいと考えています。

2つ目は、「育むべき資質や能力に応じた、紙と鉛筆、1人1台端末のベストミックス」ということです。

令和3年度に配布された1人1台端末は、今や当たり前の文房具として、日常的に各学校で活用されています。ICT機器を活用することで、これまでは考えられなかった効率的な学習や、多様な学習スタイルも導入され、その有効性も確認されています。

しかし、一方で、海外の教育先進国と呼ばれる国におきましては、様々な課題から端末の利用をやめ、紙の教科書、ノートと鉛筆に戻っている国もあります。

こうした中で、紙かICTかといった2項対立の考えに陥るのではなく、それぞれの学びの中で、子どもたちに育むべき資質や能力、つまり、学習指導要領に示された内容を確実に身に付けていくためには、どのような指導方法、教材、教具を使うべきなのか、こういったことをしっかりと判断していくことが重要となります。

「育むべき資質や能力、狙いに応じた、紙と鉛筆、1人1台端末の使い分け、ベストミックス」を進めていき、確かな学力の育成に努めていきたいと思っています。

3つ目は、学校と地域の連携です。

令和7年度は、甲府市内全中学校がコミュニティ・スクール制度を導入して3年目となります。これまでの取組をとおして、学校運営に保護者や地域の方々の声を反映する学校運営協議会制度は、各学校や地域の実態に応じて定着してきていることを感じます。

しかし、コミュニティ・スクールの狙いには、もう1つ、地域の人材や教育資源などを活用して、子どもたちの学びや活動を、よりリアリティのある豊かなものをしていくということがあると思っています。今年度は、小中学校において、このような取組を進めていきたいと考えております。

また、中学校における部活動の地域展開、小学校においては幼児教育施設との連携、協働による、いわゆる架け橋期の教育への取組もスタートしていきたいと考えております。

今日は、学校教育の指導、運営面の3点についてお話をいただきましたが、この他にも、教育委員会の業務は、図書館や公民館を含めた社会教育全般、スポーツの推進や文化財の保護など、多方面にわたります。

また、本年度から教育委員会に国スポ総体課が新設され、その準備も本格化します。

私は常々お話をしておりますけれども、教育は人づくり、未来づくりであり、さらには、まちづくりであるというふうにも考えています。今年度も、教育委員会スタッフ一丸となって、また学

校をはじめとする各施設と一層連携を深める中で、未来に向けた甲府の教育、人づくりを確実に進めることができるよう取り組んでまいりたいと考えています。

教育委員の皆様には、引き続き、これまでの豊かな御経験、またそれぞれの立場から忌憚のない御意見をいただければと思います。

どうぞ、今年度もよろしくお願いいたします。

(2) 会議録署名委員の指名

松田教育長

本日の会議録署名委員は、市川職務代理者をお願いいたします。

(3) 前回会議録の承認

松田教育長

3月14日の定例会教育委員会、18日、27日の臨時教育委員会の議事録ですが、何か御意見等ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

【原案どおり承認】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 議題

松田教育長

第14号 令和7年度小中学校の修学旅行及び林間学校の実施について
資料に基づきまして、大森学校教育課長から、説明をお願いします。

(大森学校教育課長から資料に沿って説明)

松田教育長

説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

御意見、御質問はいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、原案のとおり決定ということでよろしいでしょうか。

【原案のとおり決定】

(教育委員会決定)

(2) 報告

松田教育長

第4号 甲府市議会3月定例会の審議状況について

第5号 予算特別委員会の審議状況について

資料に基づきまして、近藤教育総室長から、一括して説明をお願いします。

(近藤総室長から資料に沿って説明)

松田教育長

説明が終わりましたので、これより質疑に入りたいと思います。

御意見、御質問等はありませんか。

市川職務代理者

食物アレルギーを有する児童生徒の家庭への対応について、質問があります。

就学援助を受ける家庭の中でも、かなり特殊なケースかもしれませんが、食物アレルギーへの対応として家庭からお弁当を持ってくる子どもの家庭に対して、給食費の関係の援助はどのようなになっているのでしょうか。

当然食べていないので、給食費の支給は考えられないと思いますが、アレルギーのない子どもは、就学援助として給食費を援助していただいている。アレルギーがあつて家からお弁当を持っていくと援助がいただけない。そういったところを教えていただきたい。

山本学事課長

市川職務代理者が仰ったとおり、就学援助の世帯につきましては、給食を食べている方は給食を無償で食べることができております。

就学援助の世帯でアレルギーにより給食を食べられずお弁当を持ってくる世帯につきましては、現在、支給などは実施をしていない状況でございます。

市川職務代理者

是非、何らかの形で支援ができることを検討していただきまして、家庭では、アレルギーによりお弁当をつくる、時間的にも経済的にもかなり負担になると思いますので、前向きに検討していただけるようよろしくお願いします。

末木委員

学校部活動の地域移行について、質問があります。

令和6年度に地域クラブ活動における成果や課題等を把握するため、アンケート調査を実施し、その結果、いくつかの貴重な意見や要望がありましたが、これは生徒の視点からに見えますけれども、保護者から特徴的な意見や要望があれば教えていただきたい。

長田スポーツ課長

地域クラブの実施に当たりましては、原則参加する生徒1クラブ当たり上限を40名と定めており、40名に達した場合は、市内東西南北の4ブロックに分けて実施するというルールとしておりますが、実際、令和6年度にスタートいたしました剣道、バレーボール、バスケットボール

におきまして、剣道については40名に満たない1クラブとなっています。

バレーボールにつきましても、女子は2クラブ、男子は1クラブ、バスケットボールは男女2クラブと、東西南北での配置に至っていない現状でございます。

御質問につきましては、御自身のお子さんが通われている学校から離れた所での実施ということで、送迎をするのが非常に困難だといった御意見をいただいております。

末木委員

経済的な負担は配慮されていますか。専門家に指導をお願いした場合、負担が生じるのはいいのですか。

長田スポーツ課長

国、山梨県が示しているガイドラインを見ますと、今後、地域クラブにつきましては、受益者負担、保護者負担とすることとなっておりますが、令和6年度については先ほど申し上げた3種目、今年度につきましては5種目を移行している過渡期であり、学校の部活動ではお金が生じず、地域クラブに移行した種目だけがお金が生じるのは不公平ということで、本市では休日の部活動13種目を完全に移行するまでは、受益者負担ではなく公費負担としておりますので、今は経済的な視点の問題について、御意見等はいただいていない状況でございます。

上原委員

第3の制服の導入について、感想になりますが、述べさせていただきます。

保護者のアンケートの結果を受けて、第3の制服が導入されて選択肢が設けられたことについては、性に関する価値観の多様化や、トランスジェンダーの生徒さんへの配慮を踏まえたうえで、一部の児童生徒や保護者の不安の解消に繋がったと感じております。

また、体温調整のしやすさや、自転車通学のときにスカートよりも動きやすいなど、機能面でも、今後、生徒の支持を得ていくのではないかと考えております。

一方で、制服は集団に属する一体感や愛校心を醸成する役割も果たしてきたと思いますが、現在、学校の制服は多様化の時代になっていると認識しております。

ですから、そういったまとまりや帰属意識に関しては、また別の面で大切に思っていて欲しいと願っております。

松田教育長

様々な教育活動の中で、学校への帰属意識などの指導もお願いしたいと思います。

大森学校教育課長

学校行事等を通じて、一体感、帰属意識を高めたいと思います。

松田教育長

よろしいでしょうか。

それでは、確認いたしました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

松田教育長

第6号 第2期甲府市スポーツ推進計画 概要版について

資料に基づきまして、長田スポーツ課長から、説明をお願いします。

(長田スポーツ課長から資料に沿って説明)

松田教育長

説明が終わりましたので、これより質疑に入りたいと思います。

御意見、御質問等はありませんか。

末木委員

最後に御説明のあった推進体制の中で、総合型地域スポーツクラブと書いておりますけれど、本市の総合型地域スポーツクラブはヴァンフォーレススポーツクラブ、U-sports club、バスケットボールスターズだけなのか、具体的なイメージが湧かないので、サッカーやバスケットボールなどに絞るのか、その辺を教えてください。

長田スポーツ課長

本市で今、総合型地域スポーツクラブに実際になっている、ヴァンフォーレススポーツクラブ、U-sports clubは、メインがサッカーのスポーツクラブになっています。

もう1つのバスケットボールスターズも、バスケットボールをメインに活動していますが、この総合型地域スポーツクラブは、スポーツ基本法の中に明記されているもので、種目に特化したものではなく、幅広くいろいろなスポーツを行うことが定義されております。

また、スポーツ基本法に定めてる総合型地域スポーツクラブというのは、お子さんから高齢者まで、多世代にスポーツを愛好する人が、初心者からトップレベルまで、それぞれの趣向、レベルに合わせて参加できる場所を特徴としており、現在の3団体が本市の総合型スポーツクラブとなっております。

実際、ヴァンフォーレススポーツクラブさんも、U-sports clubさんも、サッカーだけではなく、特にヴァンフォーレススポーツクラブにつきましては、今年度オープンしました和戸町にあります山梨県立やまなしパラスポーツセンターの指定管理者にもなりながら、幅広いスポーツ、振興に努めており、U-sports clubにつきましても、中国とのお子さんとのスポーツを通じた国際交流を盛んに行っております。

バスケットボールスターズさんも同じように、本市では中々できないような海外との国際交流ですとか、フリスビーを利用した運動など、幅広くバスケットボールにこだわらずいろいろなスポーツを実施していただけるような状況でございます。

松田教育長

よろしいでしょうか。

それでは、確認いたしました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

3 その他

松田教育長

その他になりますけれども、何かございますか。

4 閉会

松田教育長

これをもって、4月定例会教育委員会を閉会します。